

教科書に残る名作たち

市村 ちい子

学習指導要領が改訂され、小学校では今年度から、中学校では来年度から完全実施となります。小・中学校とも、この改訂により学習内容も授業時間数も増加しました。また、小学校に外国語活動が位置づけられ、各学校ではALT(外国人講師)を活用して英語に慣れ親しむ授業が展開されています。そして、教科書も新しくなりました。

さて、今から4年前になりますが、しばらくの中学校勤務の後、久しぶりに小学校へ戻って国語の教科書を手を取った時、『ごんぎつね』や『大造じいさんとガン』など、かつて情熱を傾けて指導した作品に出会い、とても懐かしくなったことがありました。名作と呼ばれるものは、こうして年月が経っても残り、子どもたちの心に感動を与えているのだなあと、改めて感じたのです。

では、今年新しくなった国語の教科書では、どんな懐かしい作品に出会えるのでしょうか。

1年生の教科書から開いてみましょう。ありました、ありました。まずは何と言っても『おきななぐ』。「うんとこしょ どっこいしょ」の掛け声が思い出されます。『サラダでげんき』『花いっぱいになあれ』も、元気がわく、楽しい作品です。

2年生の『かさこじぞう』もやっぱり残っていました。貧しくも心優しいおじいさん、おばあさんのお話です。こちらの掛け声は、お地蔵さんたちの「よいやさ よいやさ」でした。『名前を見てちょうだい』は、赤い帽子とえっちゃん大活躍のお話です。

3年生には、『サーカスのライオン』と『てぶくろを買いに』がありました。ライオンのじんざと男の子の交流を描いた『サーカスのライオン』は、少しさびしい結末で終わります。『てぶくろを買いに』は、新美南吉作品です。森の子狐の大冒険のお話ですが、心に温かいものが残りました。

そして、新美南吉作品といえば、4年生の『ごんぎつね』。狐のごんと兵十の心の行き違い。最後の火縄銃の口から流れる青い煙の描写が物語に余韻を残しました。

5年生では、椋鳩十作品の『大造じいさんとガン』。老獵師と利口なガン・残雪との戦いを描いていました。すがすがしさが残る物語でした。宮沢賢治の『注文の多い料理店』もありました。不思議な宮沢ワールドに引き込まれる作品です。

6年生には、『ヒロシマのうた』がありました。原爆投下直後の広島の様子や成長したみいちゃんとの再会を改めて読んでみると、涙が浮かんできます。そういえば、同じように戦争の悲しさを描いた『ちいちゃんのかげおくり』という作品にも、涙があふれたことがありました。

長年読み継がれ続けているこれらの名作たち。子どもたちは、小学校6年間に、これらの名作と出会い、多くの事を学びます。時に、人としての生き方まで学ぶことがあります。お父さん、お母さん世代も、国語の授業で出会った作品ではありませんか。題名に懐かしさを覚えませんか。お子さんの教科書を開いて、お子さんと一緒に、声に出して、今一度読んでみてはどうでしょう。傍らに座る子どもたちのうれしそうな顔が目に見えそうです。

※紹介した作品は、絵本になっているものもあります。また、インターネットで検索すると全文が読めるものもあります。

(いちむら ちいこ／長讚小学校長)

9月の予定

9月11日(日)
『ぼくもだっこ』
『ふくろうときつつき』

おはなし会
午後3時～
児童室にて

9月18日(日)
『あるひこねこね』
『ぞうくんのさんぽ』

●明野図書館所蔵品展「漫画家の絵本の会版画展」

手塚治虫、やなせたかし、前川かずお、馬場のぼるなど、漫画・絵本双方の分野で活躍した10名の漫画家のオリジナル版画と関連資料を展示します。関連資料は貸出もします。

期間：平成23年9月2日(金)～15日(木)

午前10時～午後6時

(※ただし、5日、12日は休館)

場所：明野図書館開架フロア



●図書館からのお願い

館内での飲食や携帯電話のご使用はほかの利用者の方のご迷惑になりますので、ご利用はご遠慮ください。



図書館カレンダー



9月 SEP						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

【開館時間】
午前10時から
午後6時まで

■は休みです。

10月 OCT						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					